

# 会津磐梯山と安達太良山を登山して

2017年10月13～14日

2018年12月画像追記

我部山民樹

‘安達太良山は何ととっても高村光太郎により、有名になった。’とS添乗員が説明。智恵子が心を病んで、故郷の安達太良山の麓に居を構えた。あの有名な‘東京には本当の空が無い。安達太良には本当の空がある。’という詩を紹介。しかし、残念ながら今日は曇りで安達太良の本当の空は見られませんが。‘と。



安達太良山

10年ほど前に、家内と東北旅行のツアーに参加したことが有る。その時のバスガイドが流暢にいろいろと説明していたことを思い出す。その中に、‘千恵子亡き後、毎日のように光太郎が’千恵子、千恵子‘と叫び、号泣する声が村人に聞こえたとの話の記憶がよみがえる。



磐梯山

会津磐梯山は歌でも有名であり、誰もが知っている紅葉の名所だ。江戸時代の噴火の後、‘個人（名前を忘れた）が私財を投げ打って裏磐梯に植林した。おか

げで今日のような名所になった。’ というような話をテレビで視聴したことを思い出す。

今回は登山だけでなく、素晴らしい紅葉を期待している。

10月13日

東京駅を7:16にバスで出発。今回は女性31名、男性6名のツアーである。週末で紅葉の名所なので、多いのだろう。添乗員は4名だ。Sさんは先週の男体山・日光白根山でもお世話になった。Kさんは今年の9月、立山・剣ヶ岳縦走でお世話になった。女性のTさん、Yさん、とも初めての人だ。Sさんより、出だしに書いた安達太良山にまつわる説明を受ける。二本松を經由して10:50に安達太良山ロープウェイ駅に到着。標高1370mだ。

ロープウェイで登頂駅まで行き、そこを11:15に出発。昨日まで降り続いた長雨で、道は泥濘だ。水溜まりもある。紅葉を見ながら、また、ナコユリの実、ゴゼンタチバナの実、オオカメノキの実、ナナカマドの実などを楽しみながら、12:10に頂上に到着する。



眺望が効かないので、ここでの長居は無用だ。証拠写真を撮影して、12:20に下山開始する。



ロープウェイを使用せず、標高950の奥岳を目指す。悪路なので、下山は大変だ。16:30に到着。バスにて裏磐梯ライジングサンホテルに向かう。15:30頃

着。

10月14日

4時に起床し、温泉に入る。やはり、雨が降っている。昨晚の天気予報では午前中は雨だった。予報通りだ。

7時にバイキングの朝食を取り、バスにて猫魔八方台に向けて7:50に出発。

そこから8:20に登山開始。登山開始して、25分後に‘中の湯’跡に到着。湯が出なくなったか、硫化水素ガスの発生で廃屋となってしまったのだろう。幸いなことに登山開始後小一時間で雨が止む。紅葉が素晴らしい。人が多いのは頷ける。紅葉を楽しみながら、10:45には山頂（標高1816m）に到着。



磐梯山

登頂の証拠写真を撮影し、眺望を惜しみながら、下山開始する。登山口付近に降りてくると、それぞれのペースで歩く。登山口にパトカーが停まっている。警官が近寄ってきて‘山頂付近で、倒れているか、怪我をしている人を見かけませんでしたか？実は助けを求める電話が入ったが、場所が分からないので。’と小生だけでなくいろいろな人に聞いている。誰もが‘見ていない。’と返事。‘こんな平易な山で怪我をするようなら、どこの山も登れないよ’と女性の声が聞こえてくる。‘確かに’と思いながら、‘怪我は山でも他でも意外な場所ですることが有る。平易な山でも注意しなければ’と自分を引き締める。それにしても‘遭難者はどうなったのか？どうして連絡が途切れたのか？’と気にかかる。

これで、今年の登山は終わりだ。（冬山は危険なので、やっていない。）66歳から70歳までに富士山をはじめ、百名山の半分以上を登山するつもりだった。今回で53座登頂した。登りたいと思った山は大体登ったし、初期の目的は達したと思う。登山は続けるとして、‘地元のハイキングクラに入会し、ゆったり登山するのも選択肢’とバスの中で考える。

2日目以降は半年後に追記した。書き忘れていたのだ。やはり記憶が乏しい。  
以上